

若狭湾サイクリングルート推進協議会

令和5年度総会

令和5年7月18日

〈 内 容 〉

1 議案

- 第1号議案 令和4年度事業実績について
- 第2号議案 令和4年度収支決算報告について
- 第3号議案 令和5年度事業計画について
- 第4号議案 令和5年度収支予算案について
- 第5号議案 役員改選について

2 その他

- 令和6年度自転車利用環境向上会議の開催について



第1号議案 令和4年度事業実績について

第1号議案 令和4年度事業実績について

総括表

区分	概要	令和4年度事業実績
取組体制	サイクリング環境の維持、向上に向けた継続的な取組体制	<ul style="list-style-type: none"> ○総会 (7月7日開催、終了後は国土交通省道路局 金籠参事官の講演会を開催) ○幹事会 (6月2日、10月3日、3月28日) ○ワーキンググループ
ルート設定	サイクルツーリズム推進に資する魅力あるルートを設定し、迷わず安心、安全に走行できる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○路面表示(矢羽根)・案内看板等の整備(全区間設計完了、敦賀～三方五湖区間整備中(繰越)) ○小浜大飯高浜自転車道並走区間の再整備(小浜市青井工リア完了) ○小浜大飯高浜自転車道(和田海岸区間)維持管理調査(試験施工実施)
走行環境		
受入整備	休憩所や宿泊施設の整備などサイクリストのニーズに対応したサポートの充実や魅力向上など受入環境の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○サイクルツーリズムについて事業者向けワークショップの開催(6月20日、8月25日 計2回 延べ56名参加) ○サイクルステーションスタッフ講習会開催(3月1日、2日 計2回 延べ26名参加) ○サイクリングイベント開催【自転車を楽しむ会】(12月11日～3月25日 6市町各1回 延べ51名参加) <li style="padding-left: 20px;">" 【わかさいくるスタンプラリー】(9月16日～11月30日 参加者96名) ○国内外サイクリストによるモニタリングツアーの実施 <li style="padding-left: 20px;">" 【モニタリングツアーの開催】(国内1回(9月)・国外1回(10月)) <li style="padding-left: 20px;">" 【サイクリングガイド養成講座の開催】(8月～10月 全4回開催 延べ109名参加) <li style="padding-left: 20px;">" 【事業者向けワークショップ・住民向けセミナーの開催】(10月～12月 計4回 延べ85名参加) ○サイクルステーション整備支援(4市町12施設整備)
情報発信	サイクリングに必要な情報が容易に得られる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○SNSを活用したルートの情報発信(6月14日開始) ○滋賀県(ビワイチ)と連携した海湖サイクルフォトコン開催(12月9日～3月15日 投稿件数119件)
その他	その他の事業・他県連携事業等	<ul style="list-style-type: none"> ○小浜線サイクルトレイン実証事業(11月12日 1回開催 15名参加) ○他県でのPR等を実施

第1号議案 令和4年度事業実績について

【協議会事業】

- **総会およびサイクルツーリズム推進に係る講演会**（7月7日）
講演会：「『わかさいくる』からはじまる『GOOD CYCLE』」
国土交通省道路局参事官（自転車活用推進本部事務局次長）金籠 史彦氏
- **地域事業者向けワークショップの開催**
地域事業者のサイクルツーリズムへの理解促進を図る座学・実走を通じた講座の開催
開催実績：2回（美浜町・若狭町、小浜市） 参加者：延べ56名
- **サイクルステーション（自転車の駅）スタッフ講習会開催**
サイクルステーションの役割や意義、ステーション配備用品の使用法の体験会など実施
開催実績：2回（敦賀市、小浜市・高浜町・おおい町） 参加者：26名
- **国内外サイクリストによるモニタリングツアーの実施（県受託事業）**
 - ※サイクリングツアー造成に向けて、国内外の有識者をモニターとして招聘し、6市町を巡るモニタリングツアーを実施
（国内）令和4年 9月20日～22日【2泊3日】延べ6名
（国外）令和4年10月17日～21日【4泊5日】延べ5名
 - ※自転車で安全安心に地域を案内するサイクリングガイド養成講座の開催
サイクリングツアーの実施に必要な地域を安全に案内するサイクリングガイドを養成
開催実績：全4回 参加者：延べ109名
 - ※地域の事業者向けワークショップおよび住民向けセミナーを開催
サイクルツーリズムによる経済効果や自転車を使った地域づくりなどの理解を促進
開催実績：4回（ワークショップ：敦賀市、高浜町・おおい町）（セミナー：嶺南東部・西部） 参加者：延べ85名
 - ※モニタリングツアーの様子を活用したルートの魅力のPR動画作成



第1号議案 令和4年度事業実績について

【協議会事業】

○自転車を楽しむ会の開催

各市町を走行して、地域の魅力と自転車の楽しさを体験するイベントの開催
12月11日～3月25日 参加者数：51名（6市町各1回実施）



○わかさいくるスタンプラリーの開催

嶺南6市町の観光スポットを巡るスタンプラリーを開催し、ルートおよび観光スポットをPR
9月16日～11月30日 参加者数：96名



○若狭湾サイクリングルートPR素材撮影

今後のプロモーションで使用する地域の景観や観光資源と自転車を組み合わせたPR素材の写真・動画撮影

【福井県事業】 走行環境整備

○矢羽根整備、案内看板・注意喚起看板の整備（敦賀駅～三方五湖周辺）

・敦賀駅～三方五湖周辺において、車道における自転車の通行位置の明示のための矢羽根路面表示を整備
分岐点や注意が必要な個所に案内看板・注意喚起看板等を設置（全区間設計完了、整備中（R4繰越））

○小浜大飯高浜自転車道並走区間の再整備

・県道と小浜大飯高浜自転車道が並行した道路（小浜市青井エリア）を再整備し、サイクリストと車が安全に走行できる環境を整備（小浜市青井エリア完了）



○小浜大飯高浜自転車道（和田海岸区間）維持管理調査

・自転車の安全な通行に支障をきたす小浜大飯高浜自転車道（和田海岸区間）について堆砂状況や、防砂ネットを試験的に設置し、対策の有効性を検証。冬季堆砂の影響大きいため迂回ルート検討が必要

第1号議案 令和4年度事業実績について

【福井県事業】 受入環境整備

○サイクルステーション（自転車の駅）整備支援

サイクルラック、空気入れ、自転車用工具の整備を支援【R5.7現在 嶺南地域の自転車の駅67箇所】
R4整備施設：敦賀市（3施設）、小浜市（1施設）、高浜町（5施設）、おおい町（3施設）

○海湖（うみ）サイクルフォトコンテスト開催

滋賀県ビワイチと連携したフォトコンテストを開催し、ルートの魅力等をPR
12月9日～3月15日 投稿数119件

○【再掲】モニタリングツアー関連事業（協議会委託事業）



その他の取組

○小浜線サイクルトレイン実証事業（小浜線利用促進協議会）

自転車が乗り入れ可能な2両編成の臨時列車を運行し、モニターツアーを実施（11/12）参加者15名

○他県での若狭湾サイクリングルートPR

- ・自転車利用環境向上会議（埼玉県）のポスターセッションで6市町の魅力をPR（MVPを受賞）
- ・日本最大級のサイクリング関係展示会「サイクルモードライド大阪2023」へのブース出展やサイクリング雑誌「Cycle Sports」でのルート紹介記事の掲載

○他県との連携

- ・滋賀県との互いのルートの実走会や鳥取県との合同勉強会の開催
- ・先進県視察（サイクリングしまなみ2022への参加や現地勉強会）
- ・北陸3県連携したルートPRの実施や、勉強会の中での取組紹介・意見交換



第2号議案

令和4年度収支決算報告について

第2号議案 令和4年度収支決算報告について

令和4年度 収支決算一覧表

科目		予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (A)-(B)
収入の部				
前年度繰越金		0	0	0
福井県負担金		3,000,000	3,000,000	0
6市町負担金		3,000,000	3,000,000	0
雑収入		0	26,061	△26,061
県委託事業費		7,766,000	7,766,000	0
収入合計 (1)		13,766,000	13,792,061	△26,061
支出の部				
取組体制	協議会運営経費	270,000	193,193	76,807
受入環境	ワークショップ開催	1,380,000	610,720	769,280
受入環境	サイクリングイベント開催 (自転車を楽しむ会、スタンプラリー)	2,125,000	2,144,626	△19,626
受入環境	モニタリングツアー実施 (ガイド養成、ワークショップ、ツアー) (県委託事業)	7,766,000	7,766,000	0
受入環境	サイクルステーションスタッフ研修	1,163,000	589,880	573,120
情報発信	プロモーション活動	600,000	600,660	△660
情報発信	事務局用端末等備品および消耗品購入	462,000	168,440	293,560
当期支出支出合計 (2)		13,766,000	12,073,519	1,692,481
次年度繰越金 (3 = 1 - 2)		0	1,718,542	△1,718,542

監査報告書

若狭湾サイクリングルート推進協議会規約第7条第3項に基づき、
令和4年度収支決算について会計帳簿、証拠書類等を監査したところ、
その内容は、いずれも適正に処理されていたので報告します。

令和5年6月1日

若狭湾サイクリングルート推進協議会

会長 杉本 達治 様

監事 若狭町長

渡辺英朗 

監査報告書


若狭湾サイクリングルート推進協議会規約第7条第3項に基づき、
令和4年度収支決算について会計帳簿、証拠書類等を監査したところ、
その内容は、いずれも適正に処理されていたので報告します。

令和5年5月30日

若狭湾サイクリングルート推進協議会

会長 杉本 達治 様

監事 小浜商工会議所会頭

井田 浩志 

第2号議案 令和4年度収支決算報告について

(参考) 令和4年度 支出一覧 (県事業含む)

区分	概要	令和4年度事業実績	推進協議会 決算額 (千円)	【参考】 県予算決算額 (千円)
取組体制	サイクリング環境の維持、向上に向けた継続的な取組体制	○総会、幹事会、ワーキンググループ開催	194	—
ルート設定	サイクルツーリズム推進に資する魅力あるルートを設定し、迷わず安心、安全に走行できる環境の整備	○路面表示（矢羽根）・案内看板等の整備	—	52,195
走行環境		○小浜大飯高浜自転車道並走区間の再整備 ○小浜大飯高浜自転車道（和田海岸区間）維持管理調査		41,332
受入整備	休憩所や宿泊施設の整備などサイクリストのニーズに対応したサポートの充実や魅力向上など受入環境の強化	○サイクルツーリズムについて地域住民、事業者向けワークショップの開催	611	—
		○サイクリングイベント開催 ○国内外サイクリストによるモニタリングツアーの実施(※) ○サイクルステーションスタッフ研修	2,144 7,766 590	— (7,766) —
情報発信	サイクリングに必要な情報が容易に得られる環境の整備	○サイクルステーション整備支援	—	203
		○プロモーション活動（SNSを活用したルートの情報発信） ○情報発信用端末等購入 ○滋賀県（ビワイチ）との連携広報	600 168 —	— — 23
合計			12,073	95,821

第3号議案

令和5年度事業計画について

第4号議案

令和5年度収支予算案について

○整備計画について

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
取組体制	検討会の開催	官民連携の協議会設立	県・市町負担金による運営、事業実施			
走行環境	三方五湖エリア整備		敦賀市～高浜町整備			
		ルートロゴ検討				
受入環境		サイクルステーション整備	ゲートウェイ整備（敦賀・高浜）			追加整備検討
			宿泊施設の整備			
			ワークショップ・セミナー・サイクルステーションスタッフ講習会等の実施			
		ルート愛称検討	サイクリングガイド養成、モニタリングツアーの実施			
		サイクリングイベントの開催				
情報発信		ゴコイチマップ作製	広域ルートマップ作成、HP作成、多言語化			HP・マップ更新、複数多言語化
		プロモーションの実施（PR動画の作成、展示会への出展、HP・アプリやSNSでの情報発信等）				
その他				自転車利用環境向上会議開催準備	●(秋) 会議開催	

令和5年度事業計画（総括表）

区分	概要	令和5年度事業計画	推進協議会 予算額（千円）	【参考】 県予算額（千円）
取組体制	サイクリング環境の維持、向上に向けた継続的な取組体制	○総会、幹事会、ワーキンググループ開催 ○事務的経費	270 1,718	— —
ルート設定	サイクルツーリズム推進に資する魅力あるルートを設定し、迷わず安心、安全に走行できる環境の整備	○路面表示（矢羽根）・案内看板等の整備 ○小浜大飯高浜自転車道並走区間の再整備	— —	30,000 38,400
走行環境				
受入環境	休憩所や宿泊施設の整備などサイクリストのニーズに対応したサポートの充実や魅力向上など受入環境の強化	○サイクルステーションスタッフ講習会の開催 ○地域住民、事業者向けワークショップの開催 ○サイクリングイベント開催（自転車を楽しむ会等）（※1） 〃（他県連携イベント①滋賀県②北陸3県） ○サイクリングガイド養成講座の開催（※1） ○国内外サイクリストによるモニタリングツアーの実施（※1） ○アドバイザー、専門家からの助言（※1） ○ゲートウェイ整備支援（※2） ○多様な宿泊施設整備支援（サイクリストに優しい宿等）（※3）	1,163 1,380 2,161 — 1,111 4,389 2,500 — —	— — (2,161) 3,339 (1,111) (4,389) (2,500) 3,250 (※3)
情報発信	サイクリングに必要な情報が容易に得られる環境の整備	○プロモーション活動（SNSや展示会等への出展など） ○ルートマップ作成（※1） ○OHP（ルートマップ等）作成（※2）	3,187 4,540 —	— (4,540) 6,108
合計			22,419	81,097 ()…協議会委託事業を除く

※1：県から協議会への委託事業、※2：県6月補正要求、※3：県全体事業費予算額150,000千円の内数
 赤字：会計規定第8条第3項に基づき、総会の議決前に幹事会（R5.3.28）での承認をもって着手した事業

令和5年度若狭湾サイクリングルート推進協議会収支予算（案）

単位：千円

科目		予算額	備考
収入の部			
前年度繰越金		1,718	
福井県負担金		3,000	
6市町負担金		3,000	6市町×500千円
雑収入		0	
県委託事業費		14,701	
収入合計		22,419	
支出の部			
取組体制	協議会運営経費	1,988	
受入環境	サイクルステーション講習会開催	1,163	
受入環境	ワークショップ開催	1,380	
受入環境	サイクリングイベント開催	2,161	(県から受託)
受入環境	サイクリングガイド養成講座開催	1,111	(県から委託)
受入環境	モニタリングツアー実施(ワークショップ、セミナー、ツアー)	4,389	(県から受託)
受入環境	アドバイザー、専門家からの助言	2,500	(県から受託)
情報発信	プロモーション活動	3,187	
情報発信	ルートマップ作成	4,540	(県から受託)
支出合計		22,419	

【取組体制】

- 総会、幹事会、ワーキンググループ開催（事業費 270千円）
- その他事務的経費（事業費 1,718千円）

【受入環境整備】

- サイクルステーションスタッフ講習会開催（事業費 1,163千円）
 - ・サイクルステーションで一定のサービス水準が保たれるよう、施設の従業員等に対し実技を含めた研修を実施（対象市町：6市町）
- 地域住民、事業者向けワークショップの開催（事業費 1,380千円）
 - ・地域事業者やまちづくりに携わる住民等を対象としたワークショップを開催
- サイクリングイベント開催（事業費 2,161千円）
 - ・地域におけるサイクリングへの理解促進、機運醸成を目的とした住民参加型サイクリングイベントを実施
- サイクリングガイド養成講座の開催（事業費 1,111千円）【県受託事業】
 - ・サイクリングツアー実施に必要不可欠な、地域の魅力を安全安心に案内するサイクリングガイドの養成
- 国内外サイクリストによるモニタリングツアーの実施（事業費 4,389千円）【県受託事業】
 - ・インバウンドにも対応した魅力的なサイクリングツアー造成に向けて、国内および外国人モニターなどを招へいして実施
- アドバイザー・専門家からの助言（事業費 2,500千円）【県受託事業】
 - ・NCR指定および地域のサイクルツーリズム普及に向けた事業全体に関する助言、現地視察等

【情報発信】

- プロモーション活動（事業費 3,187千円）
 - ・SNSを活用した情報発信やサイクリング関係展示会などのイベントへの出展、ルートPR
- ルートマップ作成（事業費 4,540千円）【県受託事業】
 - わかさいくる全域の観光施設や飲食店などの立ち寄りスポット、走行上の注意箇所などを記載したマップを作成

【福井県事業】

○受入環境整備

- * 他県連携サイクリングイベントの開催（事業費 3,339千円）
他県（隣接する①滋賀県、②富山県・石川県）のサイクリングルートと連携したイベントを実施
- * ゲートウェイ整備支援（事業費 3,250千円）※6月補正要求
ルートの主要な発着点である敦賀市、高浜町において、着替えや出発準備などができる機能を持つゲートウェイの整備支援

○情報発信

- * ホームページ（わかさいくるルートマップ等）作成（事業費 6,108千円）※6月補正要求
ルートマップより詳細な情報や観光情報などルートをより安全に楽しむことができる情報を提供するHPを作成

○その他

- * 多様な宿泊施設整備支援事業（全体事業費 150,000千円）
市町が行うサイクリストに優しい宿やペットと泊まれる宿など宿泊が来県の目的となるような施設改修費の補助を支援
 - ・負担割合：県1/3、市町1/3、事業者1/3
 - ・補助上限：5,000千円（事業費ベース15,000千円）

【福井県事業】
○走行環境整備

○令和5年度若狭湾サイクリングルート整備事業 位置図、平面図



路面表示(矢羽根)、看板等整備
事業費30,000千円
県管理道路 L=26.4km【R5予算】

路面表示(矢羽根)、看板等整備
県管理道路 L=33km【R4繰越予算】

自転車道並走区間の再整備
事業費38,400千円 L=1.8km【R5予算】

若狭高浜駅

敦賀駅

○走行環境整備

＊路面表示（矢羽根）・案内看板等の整備（予算額 30,000千円）

若狭湾サイクリングルート（三方五湖～小浜市街地 区間）の県管理道において、車道上における自転車の通行位置を明示するため、路面に矢羽根を整備し、分岐点や注意が必要な箇所に案内看板・注意喚起看板等を設置

＊小浜大飯高浜自転車道並走区間の再整備（予算額 38,400千円）

県道と小浜大飯高浜自転車道が並行した道路（小浜市西勢エリア）を再整備し、サイクリストと車が安全に走行できる環境を整備

矢羽根の整備

国道8号 敦賀市本町（整備済）



県道 佐田竹波敦賀線 美浜町北田（整備イメージ）

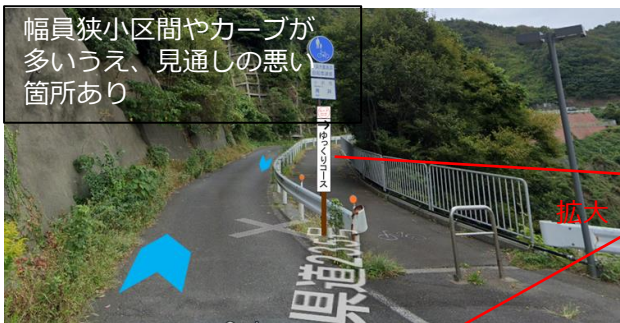


案内看板・注意看板の設置

案内看板				
設置場所	分岐部	単路部	拠点施設	自転車道並走区間
レイアウト				
サイズ	横15cm 縦45cm	横15cm 縦45cm	横45cm 縦150cm	横20cm 縦80cm
注意喚起看板				
	自転車注意 BICYCLE	幅寄せ注意 CAUTION SIDESWIPING	歩行者注意 PEDESTRIAN	勾配注意 STEEP HILL UP 勾配注意 STEEP HILL DOWN

小浜大飯高浜自転車道並走区間整備

小浜市青井エリア現況（整備イメージ）



※レイアウト案

ファミリー層などを対象にして自歩道（ゆっくりコース（仮称））も走行可能とするため、防護柵を数か所撤去

第5号議案 役員改選について

役員改選基準【若狭湾サイクリングルート推進協議会規約 抜粋】

(役員)

第6条 協議会に次の役員を置く。

(1) 会長1名

(2) 副会長2名

(3) 監事2名

2 会長は、福井県知事の職にある者をもって充てる。

3 副会長は、市長または町長の中から1名、商工会議所、商工会または観光協会等の中から1名を会長が指名する。

4 監事は、総会において選出する。

5 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

6 役員に欠員が生じたとき、その後任者として就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

2 その他 令和6年度自転車利用環境向上会議の 開催について

その他 令和6年度自転車利用環境向上会議の開催について

(1) 自転車利用環境向上会議（以下「会議」）とは

概要：自転車を通じて人々の「幸せ」と「生活の質の向上」を目指し、全国各地の自転車関連の取組みを広く発信・共有し、具体的な「自転車まちづくり」につなげていくための全国会議
（第1回は2012年に金沢市で開催、2023年は第10回 仙台市で開催予定）

内容：2日間にわたって開催 1日目（基調講演、パネルディスカッション、ポスターセッション）
2日目（分科会、まとめ、現地視察・散走体験）

(2) 会議開催の目的

北陸新幹線の県内開業を迎える2024年秋に会議を開催することで、

- ・ **ナショナルサイクルルートの指定時期を迎える「若狭湾サイクリングルート」および嶺南地域、福井県のPR**
- ・ **県内の自転車活用についての意識啓発とサイクルツーリズムの推進**

につなげていく。

(3) 会議開催の効果

① 経済効果

- ・ 参加者数 全国から約400名（R4会場参加者281人、オンライン71人 計352人）
- ・ 観光消費 会議は2日間に渡り、例年懇親会も実施されるため、宿泊需要も見込める
（2024年秋の北陸ディステーションキャンペーン期間中の実施により、前後泊など更なる観光消費額の増加が期待）

② PR効果

- ・ 開催前年の会議（R5.11月仙台市）で翌年度開催都市の紹介を行うため、北陸新幹線の開業半年前に嶺南地域、福井県のPRが可能
- ・ 例年、国土交通省、自転車活用推進本部が後援し、**NCRの審査委員も参加するため、若狭湾サイクリングルートの指定に向けてアピール可能**

③ 嶺南地域および県内の自転車走行、活用等についての意識啓発

- ・ 嶺南地域で会議を開催することで、**サイクルツーリズムの推進に必要な自転車の安全走行への環境整備や地域の理解を促進**
- ・ 全県的な自転車の利活用について考える機会とし、嶺北や近隣県とも連携したサイクルツーリズムの推進を図る。

その他 令和6年度自転車利用環境向上会議の開催について

会議開催（想定）

※内容等については、今後、自転車利用環境向上会議等と調整して決定

- 主催等
 - 主催 若狭湾サイクリングルート推進協議会
 - 協力 自転車利用環境向上会議全国委員会
 - 後援 自転車活用推進本部、国交省、警察庁、（公社）土木学会、自転車を活用したまちづくりを推進する市区町村長の会（過去の例より）
- 参加対象 国、地方自治体、警察、NPO・団体、観光等関係者、その他自転車を活かしたまちづくり等に興味のある方等
- 参加者数 400名前後
- 開催時期 令和6年10月～11月
- 開催場所 嶺南地域
- 内容
 - 1日目：基調講演、講演、事例報告、パネルディスカッション、ポスターセッション等、（終了後）懇親会
 - 2日目：分科会（走行環境、安全・教育、ツーリズム等）、全体会議（まとめ、次回開催地挨拶等）
現地視察【嶺南各地（散走体験、バス視察等）】
- 経費見込 約1,500万円（令和4年度さいたま市開催 約1,700万円）

今後のスケジュール

年度	R4	R5			R6	
内容	会議の開催意向表明 ●	開催地決定 ●	第10回会議（仙台市）次回PR ●	◇北陸新幹線開業	開催準備	会議開催 ◎

